

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	しなの液酸株式会社							
代表者名	氏名	村上 幸夫	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	松本市梓川倭 4000-1							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	1623 圧縮ガス・液化ガス 製造業						
主たる事業の概要	原料の空気を極低温に冷却し、沸点の差を利用して分離した液化酸素と液化窒素を製品として液化ガスローリーに充填出荷する							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	3991	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	0	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

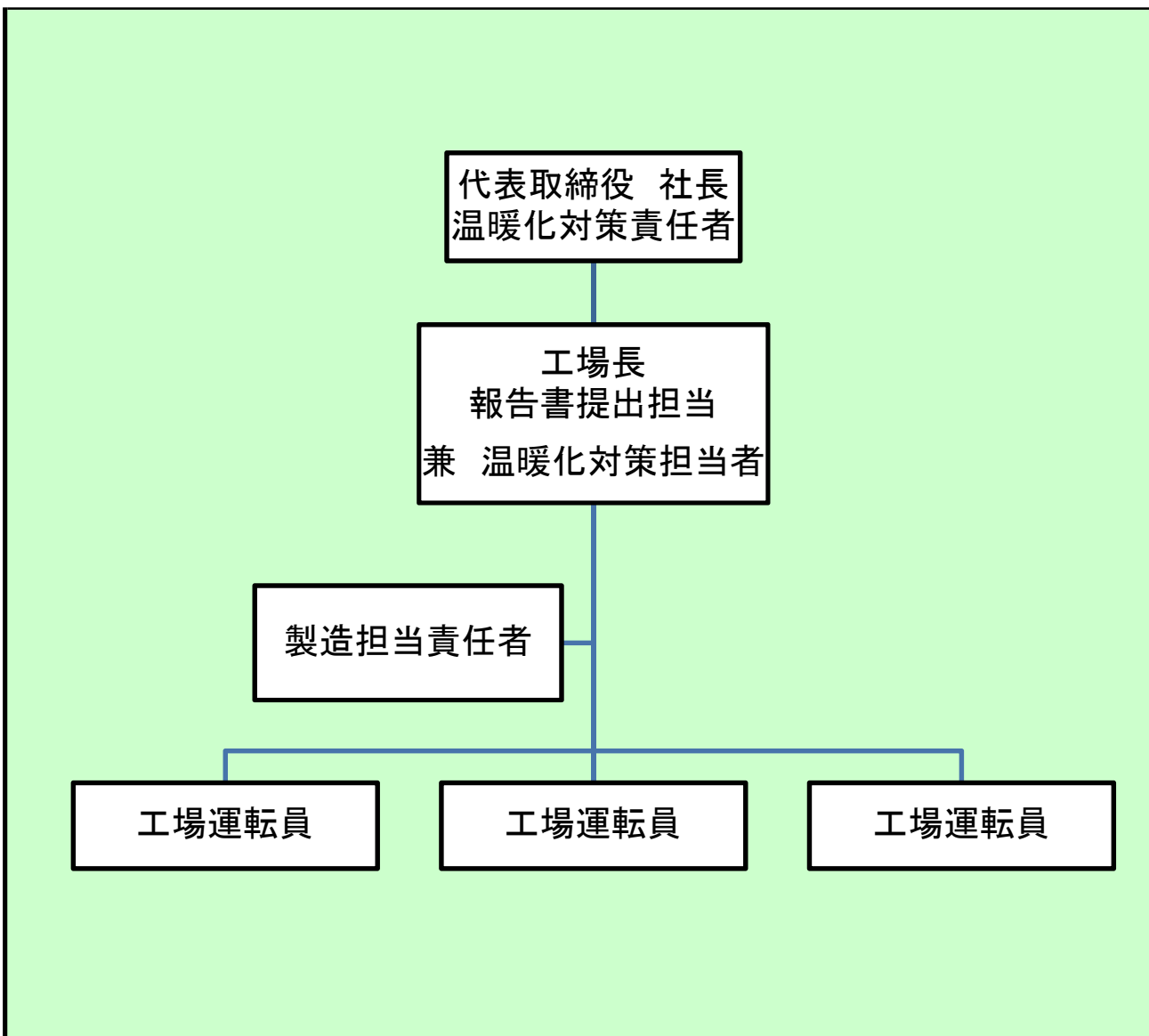
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	しなの液酸株式会社 本社工場 長野県松本市梓川倭 4000-1 TEL 0263-76-1248 閲覧時間 平日 9:00 ～ 17:00 (要事前連絡)
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

運転効率の向上とロス低減により、電力の使用量を抑制する

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	8,105	t-CO ₂	生産量	18.19	単位	M Nm ³	
25年度	調整後排出量	5,867	t-CO ₂	基準原単位	445.57	t-CO ₂ /	M Nm ³	
目標年度	目標排出量	7,900	t-CO ₂	目標原単位	436.00	t-CO ₂ /	M Nm ³	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	2.52	%	目標削減率	2.14	%		
目標設定に関する説明	原料空気投入量の最適化と製品ポンプの移送条件の調整によるロス低減を計ることで、生産電力原単位 年平均0.7%向上の目標を達成するとともに、吸着塔再生用ヒーターの運転条件を見直してピークカットを進める							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	8,160	t-CO ₂	生産量	18.39	単位	M Nm ³	
	調整後排出量	8,097	t-CO ₂	原単位	443.72	t-CO ₂ /	M Nm ³	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率	(0.68)	%	削減率	0.41	%		
排出量等の増減理由	製品の生産量が増加に伴い排出量は増加したが、効率化運転とロスの削減効果により、原単位は削減率が0.41%となった							
第二年度	排出量	8,228	t-CO ₂	生産量	18.35	単位	M Nm ³	
	調整後排出量	8,180	t-CO ₂	原単位	448.39	t-CO ₂ /	M Nm ³	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率	(1.52)	%	削減率	(0.64)	%		
排出量等の増減理由	主要設備の一つである高温コンパ ^ン ダに危険回転数範囲(振動の発生により5分以上継続運転できない回転数範囲)が追加されたことにより、常に高温コンパ ^ン ダを高回転で維持する必要が生じたことで減産時においても圧縮機の処理量を一定量確保する必要があり原単位の悪化につながった。							
第三年度	排出量	8,264	t-CO ₂	生産量	18.52	単位	M Nm ³	
	調整後排出量	7,881	t-CO ₂	原単位	446.22	t-CO ₂ /	M Nm ³	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率	(1.97)	%	削減率	(0.15)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	これまで実施してきた省エネ対策の結果、前年度比では原単位の向上が確認できたが、コンパ ^ン ダの回転数制限の影響により、目標達成には至らなかった。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360703 原料空気量の減量	26~28	100	26	20
2	エネ起	330205 冷却水の水質管理	26	30	26	4
3	エネ起	360701 移送ポンプの運転管理	26	30	26	10
4	エネ起	360701 吸着塔ヒーターの運転管理	27	30	27	10
5	エネ起	360702 機械室ファンの運転台数管理	28	15	28	8
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	2238		63	48	383
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	8,105	1	8,160	1	8,228	1	8,264
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	8,105	1	8,160	1	8,228	1	8,264

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	0	0	0	0
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特になし
第一年度実績	特になし
第二年度実績	特になし
第三年度実績	特になし

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	CO2排出係数の小さい電力会社に変更	25
その他		